

株式会社 **クロップス**

証券コード9428

第**34**期

株主通信

平成22年4月1日から平成23年3月31日まで





株主の皆様へ

株主の皆様におかれましては、平素から格別のご支援を賜り、有難く厚く御礼申し上げます。

平成23年3月11日に発生いたしました東日本大震災により被災された皆様には、心よりお見舞い申し上げますとともに、一日も早く復興されますことをお祈り申し上げます。

当社は平成23年3月31日をもって、第34期（平成22年4月1日から平成23年3月31日まで）が終了いたしましたので事業の概況をご報告申し上げます。

今後とも株主の皆様の一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成23年6月



代表取締役社長

小林 正明

新社長就任のお知らせ

平成23年4月1日付で、新代表取締役社長に小林正明（前取締役管理部門担当）が就任いたしました。

当社は、新しい経営体制の下、堅実な経営で事業基盤の安定を図り、企業価値向上を目指してまいります。

〈目次〉

ごあいさつ	1
トップインタビュー	2
当社グループの経営成績	4
連結財務ハイライト	7
TOPICS	10
auショップ探訪	11
会社概況	12
株式情報	13
株主メモ・株主優待制度のご案内	14





新社長インタビュー

Q1.平成23年4月1日付の社長就任にあたっての抱負をお聞かせ下さい。

まずは、東日本大震災で被災された皆様には、心よりお見舞い申し上げますとともに、一日も早い復興をお祈り申し上げます。

世界経済全体としては長期的に緩やかな改善の動きが継続していると思いますが、国内経済は東日本大震災の影響により景気が下振れするリスクが存在し、先行きについては不透明な状況にあると認識しております。

このような経済状況ではありますが、当社グループは移動体通信事業を柱として、安定した経営を実現しております。社長就任にともない、事業基盤をより強固なものにしていくこと、そしてグループ各社の積極的な経営施策の展開とともに、M&Aも積極的に活用して、さらなる企業価値の増大を図ることが、私の使命であると考えております。

また、企業の持続的な発展には、「お客様」「社員」「社会」との共生が不可欠であると考えております。私は、当社グループを「お客様に満足していただける会社」、「社員が誇りを持って働くことのできる会社」、「誠実な企業活動により社会に貢献できる会社」として発展させていきたいと考えております。

Q2.グループの各事業別の市場動向と当面の課題はいかがでしょうか。

【移動体通信事業】

移動体通信事業、すなわち当社が扱うauにとって、前期は変革の年であったと言えるのではないのでしょうか。スマートフォンが本格的に市場へも投入され、「Android au」というブランドが、多くの方々に認知され、支持が広がりつつあると感じております。

スマートフォンの後続モデルが続々と市場に投入されることや、「周波数の再編方針」により、周波数の再編後に利用できなくなる携帯電話端末を利用されているお客様への買い替えの促進も更に強まることから、今期も前期に

引き続き、堅調に推移すると考えております。
当社ではショップにおける付加価値の高い接客の提供に注力しております。個々のお客様が必要としている情報を提供するための商品知識・接客技術の向上、情報システムの整備などを進めております。また、中部地区に40店舗を展開しているという規模を生かし、更に店舗の移転、統合、大型化を継続して進めていくことで、常にお客様の利便性の向上を追求し、競合店との差別化を図ってまいります。

【人材派遣事業】

人材派遣事業においては、時限立法の経済政策等により、一部の業種では業績を持ち直す傾向にあったものの、派遣需要は低調のまま推移いたしました。

東日本大震災の影響による国内経済状況の悪化や、昨年度より継続審議されております労働者派遣法の改正論議、また、法改正を見据えての派遣先企業様内での直接雇用者の増加により、今期も前期同様の傾向であるとみております。

そのような中で、売上の確実な積み上げができるよう、派遣先企業様の中でのニーズが高まっております外国語業務や高齢者派遣への対応強化や業務の請負化の提案・受注を図るべく、努力してまいります。





トップインタビュー

【ビルメンテナンス事業】

ビルメンテナンス事業においては、顧客企業のビル管理コストの削減意識の高まりによる価格競争が激化する中、総合力を生かしての新規顧客開拓の営業活動に注力し受注増へと繋げた結果、前期は堅調に推移しました。

顧客企業様からのコストの低減要請は引き続き厳しい状況ではありますが、営業力の強化を図り、新規顧客の開拓に努めることにより売上拡大につなげてまいります。

【飲食店舗居抜き流通事業】

飲食店舗居抜き流通事業においては、外食産業全体は低調気味ではありますが、新規出店や独立をして店舗を持ちたい希望者様の需要増と店舗の管理物件数の増加により、前期は堅調に推移しました。

1物件当たりの取扱単価は下落傾向にありますが、営業体制の整備による収益力強化、Webサイト（居抜き店舗.com、店舗買取り.com）を積極活用した出店・退店希望者へのアプローチを通して顧客獲得を図ってまいります。

【文具事務用品卸事業】

文具事務用品卸事業は、平成22年10月に株式会社スガタの全株式取得により、当社事業の1つとして加わりました。事業内容は、輸入文具の企画・卸売販売等です。



国内文具市場については、一定の安定した需要があります。今後は株式会社スガタが蓄積した中国や台湾などのアジア地域のメーカーとの取引による海外活動を足がかりとし、海外市場における営業展開を模索していきたいと考えております。

Q3.グループ全体の中長期的な戦略と将来像はどのようにお考えでしょうか。

当社グループが拡大成長を続けていくためには、既存概念にとらわれない事業提携、M&Aが不可欠なものであると考えております。これまで築き上げてきた移動体通信事業等による安定的な収益を確保しつつ、新規の事業分野・市場への参入、企業提携を視野に入れ、グループ全体で新たな企業展開を図ってまいります。

Q4.最後に株主の皆様へ。

株主の皆様には平素よりご支援いただき誠にありがとうございます。

私どもクロップスグループの社員が一丸となり、持続的な企業価値の向上とともに健全な企業グループとして成長すべく、努力を積み重ねてまいります。

今後とも株主の皆様の一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。





当社グループの経営成績

1. 当期の概況

【当社グループの経営成績】

当連結会計年度（平成22年4月1日から平成23年3月31日まで）における経営環境は、新興国を中心とした海外経済の改善、国内の各種景気対策の効果により持ち直しの傾向が見られていたものの、株価の低迷、円高傾向などの不安材料から先行き不透明感を払拭できず、雇用情勢・所得環境は依然として厳しい中、個人消費が低迷を続ける厳しい状況で推移しました。また、平成23年3月11日に発生した東日本大震災の影響により、国内景気の先行きは、より不透明な状況となっております。

このような経済環境の中、移動体通信事業におきましては、移動体通信事業者各社におけるスマートフォンを中心とした新機種の発表、新たなコンテンツサービスの提供等により顧客獲得に向けた競争はますます激しくなっております。この結果、国内の携帯電話契約件数は1億1千9百万件、前期末比6.6%増、同期間の純増件数は735万2千件となっております。そのうち、当社の販売エリアである中部圏の契約件数は1,345万7千件、前期末比4.3%増となっております。

人材派遣事業につきましては、景気の低迷により、企業の雇用抑制は継続し、東海地区の人材派遣市場も厳しい状

況が続いております。

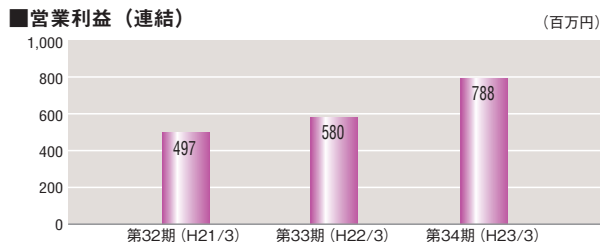
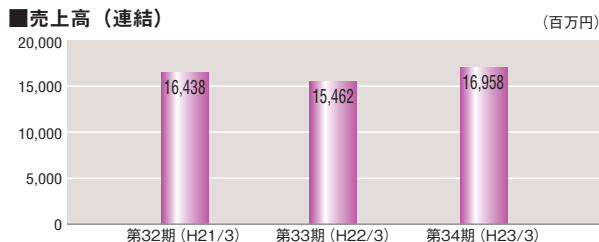
ビルメンテナンス事業につきましては、製造業を中心とした顧客企業の業績も回復基調であったものの、下期に入り円高傾向や原油価格の高騰継続などの影響が懸念され、顧客企業からの値下げ要請による単価の下落や同業他社との価格競争の激化が続いております。

飲食店舗居抜き流通事業につきましては、外食産業自体の低迷は続いているものの、首都圏への出店希望者は増加しており、居抜き物件の需要は堅調に推移しております。

平成22年10月に全株式を取得して子会社化した文具事務用品卸事業におきましては、大手文具販売店等への販売が堅調に推移いたしました。

このような市場環境にあって当社グループは既存顧客の確保と新規顧客の開拓に注力した営業活動を展開してまいりました。

この結果、当連結会計年度の業績は、売上高16,958,333千円（前期比9.7%増）となりました。損益面におきましても営業利益788,753千円（前期比35.9%増）、経常利益779,344千円（前期比28.7%増）、当期純利益330,061千円（前期比19.5%増）と堅調に推移しました。





当社グループの経営成績

2. 事業別の概要

【移動体通信事業】

当連結会計年度の出店状況につきましては、平成23年1月に「auショップ桶狭間」（愛知県名古屋市）を新規出店し、平成23年3月31日現在における店舗数は40店舗となっております。また同時に、お客様の利便性の向上を図り、総合的な営業力の強化を図るための“核店舗の大型化”を引き続き進めております。当連結会計年度においては、店舗移転3店舗（平成22年9月「auショップ江南」：愛知県江南市、平成23年2月「auショップ浜松三方原」：静岡県浜松市、平成23年3月「auショップ安城横山」：愛知県安城市）、店舗改装2店舗（平成22年8月「auショップ豊田小坂」：愛知県豊田市、平成23年2月「auショップ浜松若林」：静岡県浜松市）を行いました。

営業活動においては、従来に増したDM・広告の展開を行い、スマートフォン・デジタルフォトフレーム・電子ブック等の2台目需要の開拓、平成15年10月に総務省が公表した「周波数の再編方針」により、周波数の再編後に利用できなくなる携帯電話端末を利用されている顧客への機種変更促進に注力いたしました。

この結果、当連結会計年度の売上高は、9,222,141千円（前期比6.1%増）、営業利益は564,627千円（前期比9.2%増）となりました。

《携帯電話販売状況》

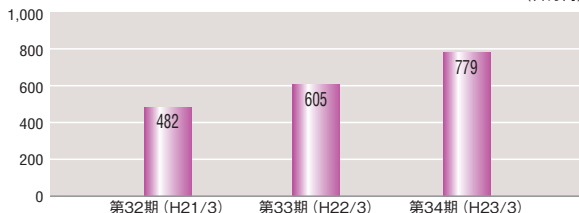
新規販売		機種変更		合計	
台数	前期比	台数	前期比	台数	前期比
31,021台	106.3%	98,069台	121.6%	129,090台	117.5%

【人材派遣事業】

人材派遣事業におきましては、景気低迷による顧客企業の消費マインド低下等もあり、長期契約の販売系派遣数が減少しました。また、派遣職種の適正化推進が企業の直接雇用の増加につながったことなどから派遣需要は低迷いたしました。業務請負については、FTTH等光回線販売において「地デジ商戦」「家電エコポイント」等の恩恵を受け

■経常利益（連結）

（百万円）



たものの、販売市場の成熟から前年度を上回るまでには至りませんでした。

このような結果、当連結会計年度の売上高は、2,329,523千円（前期比19.7%減）となりました。こうした中、事業構造改善の取り組みの継続、経費の圧縮等に努めた結果、営業利益は、80,879千円（前期△37,028千円）となりました。

【ビルメンテナンス事業】

ビルメンテナンス事業におきましては、顧客企業のコスト削減意識の高まりにより価格競争が激化する一方、新規顧客の開拓等営業活動に注力した結果、大型案件やスポット契約の獲得があり、当連結会計年度の売上高は、3,269,254千円（前期比7.4%増）となりました。また、業務改善等による原価の低減、費用の圧縮に努めた結果、営業利益は、73,749千円（前期比18.9%減）となりました。

【飲食店舗居抜き流通事業】

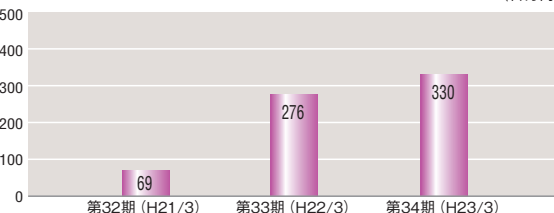
飲食店舗居抜き流通事業におきましては、同業他社との価格競争により1物件当たりの単価については下落傾向にあるものの、当事業が営業エリアとしている首都圏への物件に対する出店意欲は依然として高く、飲食店舗の開店・閉店支援サービスの堅調な需要と管理物件数の増加により、当連結会計年度の売上高は、1,477,975千円（前期比54.9%増）となりました。また、営業体制の拡大による収益力強化とともにWebサイト（居抜き店舗.com、店舗買取り.com）を積極活用した出店・退店希望者へのアプローチ、店舗物件開拓等の営業活動を展開した結果、営業利益は、56,052千円（前期比15.4%増）となりました。なお、前年度は平成21年7月から平成22年3月までの9ヶ月の数字となっております。

【文具事務用品卸事業】

平成22年10月に全株式取得を実施し子会社化した株式会社スガタが営む文具事務用品卸事業は、輸入文具の企画・卸売販売を行っており、大手文具販売店等への販売が堅調に推移した結果、当連結会計年度の売上高（みなし取得日）を平成22年12月31日としているため、平成23年1月1日から平成23年3月31日までの3ヶ月間）は、828,706千円、営業利益は、55,837千円となりました。

■当期純利益（連結）

（百万円）





当社グループの経営成績

3. 今後の展望と課題

今後の経済見通しにつきましては、世界経済全体としては長期的に緩やかな改善の動きが継続するものの、国内経済は平成23年3月11日に発生した東日本大震災の影響により景気が下振れするリスクが存在し、先行きについては不透明な状況ではありますが、積極的な経営施策の展開のもと、平成24年3月期の計画につきましては、売上高19,250百万円（前期比13.5%増）、営業利益800百万円、経常利益790百万円、当期純利益400百万円の増収増益を目指してまいります。

(1) 移動体通信事業

移動体通信事業における市場環境は、成熟状態と言われて久しく、携帯電話の契約件数が平成23年3月末で1億1千9百万件となり、また、移動体通信事業者各社のスマートフォンやデータカード等新機種発売により、顧客の獲得に向けた競争も激しさを増しております。

このような市場環境にあって、移動体通信事業者による顧客ニーズに対応した多様な携帯端末の開発や新料金プランの提案など、商品力の強化が進み、スマートフォン、データカード等の認知度及び性能の向上による需要の拡大や割賦販売契約の満期を迎える利用者の買い替え需要も見込まれるため、携帯端末等の販売は堅調に推移するものと考えております。

当社が運営しております「auショップ」においては営業力強化のため、移転・改装を計画的に実施するとともに、顧客ニーズに沿った提案型の販売ができるよう販売スタッフの教育に注力し、収益力強化を図ってまいります。

(2) 人材派遣事業

人材派遣事業におきましては、登録型派遣や製造業派遣の原則禁止を柱とする労働者派遣法改正についても引き続き検討されており、人材派遣市場の環境が大きく変化することも予想されます。また、東日本大震災の影響により、東海地区における人材派遣需要については、製造業を中心として厳しい状態が続くと考えております。

このような経営環境に鑑み、労働者派遣法改正についての情報収集及び対応を図るとともに、顧客企業とのコミュニケーションの強化による派遣機会の獲得及び営業強化に

より新規顧客の開拓に注力いたします。また、派遣スタッフの能力向上に向けた教育の強化を図るとともに、引き続き事業構造の改善、経費の圧縮を行い、収益力強化を図ってまいります。

(3) ビルメンテナンス事業

ビルメンテナンス事業におきましては、改善の兆しが見え始めていた企業業績に、東日本大震災の影響で下振れが懸念され、顧客企業からの値下げ要請による単価の下落や同業他社との価格競争の激化が続くと思われれます。

このような経営環境に鑑み、営業の強化により新規顧客の獲得や既存顧客の業務受諾範囲の拡大を図るほか、全社的なコスト削減活動を継続して、収益の改善に努めてまいります。また、社員教育の強化とISOを基盤とする品質管理の充実により、顧客満足度の向上を推進し、収益力強化を図ってまいります。

(4) 飲食店舗居抜き流通事業

景気悪化により外食産業の低迷が続く中で、飲食店の入れ替わりが増加しております。飲食店舗居抜き流通事業において提供する飲食店舗の開店・閉店支援サービスは、出店・退店希望者共にコストを最小限に抑えることができるため、当サービスに対する更なる需要の拡大が見込まれます。また、当事業の強みであるサブリースの需要が高まると考えております。

このような経営環境に鑑み、優秀な人材の採用による営業体制の強化を推進するとともに管理物件数の増加に注力し、収益力強化を図ってまいります。

(5) 文具事務用品卸事業

文具業界全体は、消費者の節約志向の高まりや景気の先行き不透明感から需要が低迷しており、この傾向は当面続くと考えております。また、中国向け特恵関税の撤廃による仕入コストの上昇も懸念されます。

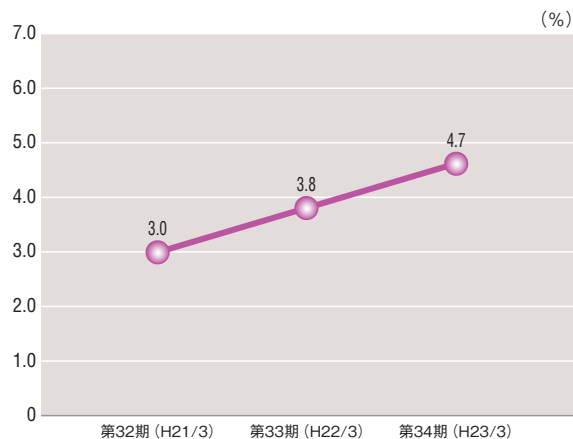
このような経営環境に鑑み、より仕入コスト削減効果の高い海外仕入先の開拓、営業体制強化による新規販売先の開拓、競争力の高い新商品の企画等に注力し、収益力強化を図ってまいります。



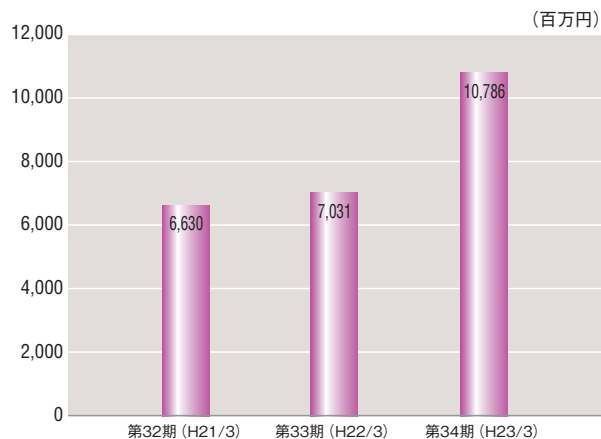


連結財務ハイライト

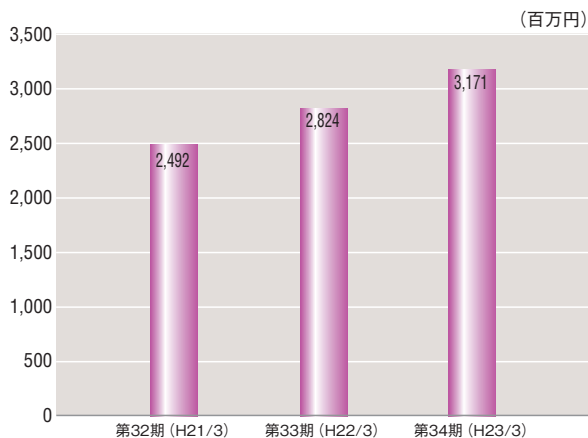
■ 売上高営業利益率



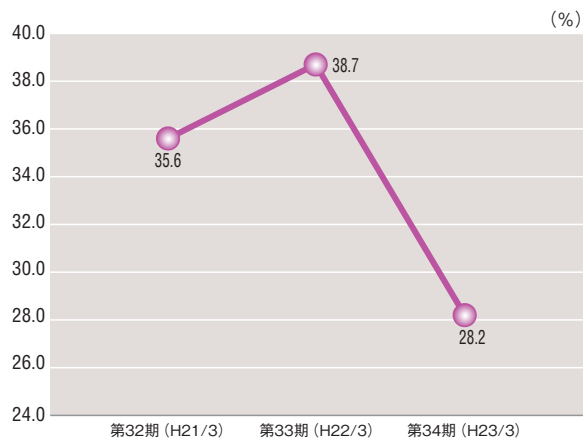
■ 総資産



■ 純資産



■ 自己資本比率





連結財務ハイライト

連結貸借対照表

(単位：千円)

科目	当期末 (平成23年3月31日現在)	前期末 (平成22年3月31日現在)
(資産の部)		
流動資産		
現金及び預金	2,888,022	1,081,845
受取手形及び売掛金	2,056,428	1,500,360
商品	1,072,933	592,357
貯蔵品	2,896	3,238
繰延税金資産	149,847	133,361
その他	288,571	270,564
貸倒引当金	△ 22,152	△ 2,969
流動資産合計	6,436,547	3,578,757
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	870,298	718,629
機械装置及び運搬具	6,749	7,858
工具、器具及び備品	58,693	63,918
貸与資産	50,377	196,105
土地	1,337,547	1,051,581
建設仮勘定	630	—
有形固定資産合計	2,324,296	2,038,093
無形固定資産		
投資その他の資産	350,367	87,575
投資有価証券	348,685	229,087
差入保証金	949,727	874,426
繰延税金資産	227,364	102,842
その他	164,599	120,382
貸倒引当金	△ 14,771	—
投資その他の資産合計	1,675,606	1,326,739
固定資産合計	4,350,269	3,452,408
資産合計	10,786,817	7,031,166

科目	当期末 (平成23年3月31日現在)	前期末 (平成22年3月31日現在)
(負債の部)		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,111,289	906,311
短期借入金	2,650,000	200,000
1年内返済予定の長期借入金	464,319	326,880
未払金	604,266	590,847
未払法人税等	232,209	165,506
賞与引当金	183,459	191,248
その他	389,274	359,171
繰延税金負債	—	3,127
流動負債合計	5,634,819	2,743,092
固定負債		
長期借入金	879,560	725,880
退職給付引当金	173,386	114,501
役員退職慰労引当金	14,365	15,035
長期預り保証金	671,350	569,890
資産除去債務	87,733	—
その他	153,664	38,635
固定負債合計	1,980,060	1,463,941
負債合計	7,614,879	4,207,034
(純資産の部)		
株主資本		
資本金	255,157	255,157
資本剰余金	315,278	315,278
利益剰余金	2,387,961	2,074,156
自己株式	△ 61	△ 44
株主資本合計	2,958,335	2,644,547
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	78,434	75,350
その他の包括利益累計額合計	78,434	75,350
新株予約権	1,128	—
少数株主持分	134,038	104,233
純資産合計	3,171,937	2,824,132
負債純資産合計	10,786,817	7,031,166





連結財務ハイライト

連結損益計算書

(単位：千円)

科目	当期	前期
	(自平成22年4月1日 至平成23年3月31日)	(自平成21年4月1日 至平成22年3月31日)
売上高	16,958,333	15,462,970
売上原価	12,708,106	11,681,637
売上総利益	4,250,227	3,781,333
販売費及び一般管理費	3,461,473	3,201,040
営業利益	788,753	580,293
営業外収益	69,461	153,081
営業外費用	78,870	127,931
経常利益	779,344	605,443
特別利益	10,330	16,606
特別損失	187,594	108,621
税金等調整前当期純利益	602,079	513,427
法人税、住民税及び事業税	322,957	274,902
過年度法人税等	—	33,877
法人税等調整額	△ 81,612	△ 42,648
少数株主利益又は少数株主損失(△)	30,671	△ 28,935
当期純利益	330,061	276,231

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

科目	当期	前期
	(自平成22年4月1日 至平成23年3月31日)	(自平成21年4月1日 至平成22年3月31日)
営業活動による キャッシュ・フロー	426,314	454,558
投資活動による キャッシュ・フロー	△ 1,382,272	△ 523,149
財務活動による キャッシュ・フロー	2,724,163	△ 851,386
現金及び現金同等物の 増加額(△減少額)	1,768,205	△ 919,976
現金及び現金同等物の 期首残高	1,071,845	1,991,822
現金及び現金同等物の 期末残高	2,840,050	1,071,845

連結株主資本等変動計算書

(単位：千円)

	株主資本					その他の包括 利益累計額 その他有価証券 評価差額金	新株予約権	少数株主 持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本 合計				
平成22年3月31日残高	255,157	315,278	2,074,156	△ 44	2,644,547	75,350	—	104,233	2,824,132
連結会計年度中の変動額									
剰余金の配当			△ 16,256		△ 16,256				△ 16,256
当期純利益			330,061		330,061				330,061
自己株式の取得				△ 17	△ 17				△ 17
株主資本以外の項目の 連結会計年度中の変動額					—	3,083	1,128	29,805	34,017
連結会計年度中の変動額合計	—	—	313,805	△ 17	313,787	3,083	1,128	29,805	347,805
平成23年3月31日残高	255,157	315,278	2,387,961	△ 61	2,958,335	78,434	1,128	134,038	3,171,937





(1) 店舗の「新規出店・移転・リニューアル」の実施

下期は、名古屋市郊外に1店舗の新規出店を始め、既存3店舗を大型化し、移転オープンした他、リニューアルを2店舗実施いたしました。

今期（平成22年4月～平成23年3月）の移転、リニューアル店舗は次のとおりです。

- ・新規出店 : 1店（愛知県：1）
- ・店舗移転 : 3店（愛知県：2、静岡県：1）
- ・リニューアル : 2店（愛知県：1、静岡県：1）



平成23年3月移転オープン「auショップ 安城横山」

(2) 顧客満足度向上のための教育体制の整備

下期も引き続き、社員が高い接客技術を習得できるよう、教育体制の整備に力を入れて取り組んでまいりました。KDDI主催による資格認定制度である「auプロスタッフ」（携帯電話の基礎知識）・「auハートフルスタッフ」（接客技術）・「auリーディングスタッフ」（総合資格）・「ビジネスauスタディ」（法人顧客向け）などの資格保有者の拡大を進めるために、社内での試験対策セミナーの開催、成績優秀者に対する表彰を実施しております。その結果、どの資格でも毎回成績優秀者を輩出しており、「ビジネスauスタディ」においては、3年連続で当社社員が全国1位の成績を収めております。



平成23年1月オープン「auショップ 桶狭間」

(3) 会社説明会の継続実施

下期は、投資家の方々当社への理解を深めていただくために名古屋証券取引所が主催する個人投資家対象、アナリスト対象の2つのイベントに参加いたしました。

個人投資家対象のイベントである「株式投資ウインターセミナー」は、平成23年2月15日に中電ホールにて開催され、350名の方々にご参加いただきました。参加者の皆様は、大変熱心に説明に耳を傾けられ、当社への理解を深めていただきました。

また、アナリスト対象のイベントとしては、平成22年12月6日の「名証 WEEK IN TOKYO」に参加いたしました。





auショップ探訪 (vol.4)

今回は、愛知県名古屋市長区に平成23年1月にオープンした、「auショップ おけばさま 桶狭間」の鹿島チーフを訪問いたしました。

■ まずは「auショップ 桶狭間」のお店の特徴を教えてください

当店は、国道23号線「有松インター」から北に向かってすぐの場所にあります。駐車場も11台分をご用意しましたので、お車でのご来店にも便利になっております。近くには「有松ジャンボリー」という大規模な複合商業施設がございまして、そこでご購入物をされた方が立ち寄られることも多いようです。また、歴史的に有名な「桶狭間の合戦」があった場所に近く、古戦場跡などもございます。



当店にご来店されるお客様は、特に偏りなく学生から年配の方まで様々で、休日にご家族連れが多数いらっしゃいます。

■ 今のおすすめ商品・サービスは？

やはり人気があるのは、「スマートフォン」です。今まで携帯電話で「ワンセグ」や「おサイフケータイ」を使われていたお客様は、「スマートフォン」でも同じ機能が付いている機種を好まれます。特に「IS03」は、機能と価格のバランスがよく、当店での一番の人気の機種となっております。また、「HTC EVO WiMAX」は、台数に限りのある限定機種ということもあり、沢山の予約をいただいております。コンパクトで動作の軽い「IS05」や防水タイプの「IS04」も売れ筋機種となっております。

「スマートフォン」以外の携帯電話では、カメラ機能に特化した機種が人気となっており、デジカメ「Cyber-shot」を搭載したソニーの「S006」やハイビジョン動画が撮影できるカシオの「CA006」が、特に人気の機種となっております。

おすすめのサービスといたしましては、「スマートフォン」をお使いのお客様には、料金プランに「ISフラット」をお勧めしております。こちらのプランは、パケット代を月々5,460円の定額にするもので、さらに、月々の基本使用料や通話料を割引する「毎月割」も併用して頂けることから、よりお得にお使い頂くことができます。



特定の番号への通話が多いお客様には、3件までのau携帯電話への電話がかけ放題になる「ガンガントーク」をお勧めしております。月々の料金は定額の390円で、ご家族に限らず、お友達あるいは恋人など、24時間いつでも、また何時間通話しても無料ですし、もちろん、「Cメール」も無料でご利用頂けます。

この他にも、携帯電話のご購入の際に代金としてご利用頂ける「auポイント」の上手な貯め方など、携帯電話をもっと快適に、もっと楽しくご利用頂けるような様々な情報を提供できるよう準備してお待ちしております。どうぞお気軽にauショップにお越し下さい。

■ 最後にご来店されるお客様へ一言

私ども「auショップ 桶狭間」では、『親切』『丁寧』な接客で地域に密着した優しいショップを目指し、ご来店頂く全てのお客様それぞれのご要望に合ったご提案が出来るよう努力しております。

また、店内にはキッズスペースもございまして、小さなお子様連れのお客様も、安心してご来店下さい。スタッフ一同、お客様のご来店を心よりお待ちしております。





会社概況

会社概要

(平成23年3月31日現在)

会社名	株式会社クロップス
英訳名	CROPS CORPORATION
本社	名古屋市中村区名駅四丁目23番9号 電話 052-586-5145(代表)
設立	昭和52年11月2日
資本金	255,157千円
従業員数	193名(正社員) (グループ従業員数 1,065名(内、平均臨時雇用者数 616名))
事業内容	au携帯電話の販売および付随するサービス全般
店舗数	40店舗(直営) (愛知県:29 岐阜県:2 三重県:7 静岡県:2)
ホームページアドレス	http://www.crops.ne.jp/
主要な連結子会社	株式会社クロップス・クルー いすゞビルメンテナンス株式会社 株式会社テンポリノバージョン 株式会社スガタ

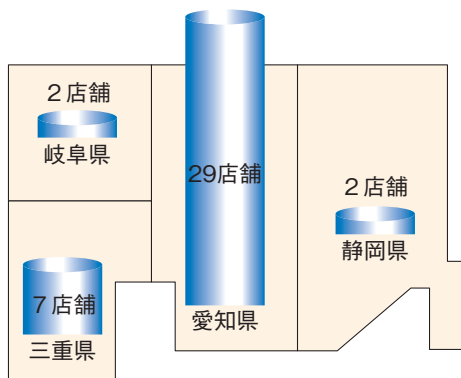
役員の状況

(平成23年3月31日現在)

代表取締役会長	前田博史 (平成23年4月1日付で、取締役相談役に就任)
取締役	小林正明 (平成23年4月1日付で、代表取締役社長に就任)
取締役	岡山浩二 (平成23年4月1日付で、常務取締役に就任)
取締役	森岡静佳
取締役	後藤久輝
取締役	飯田長
常勤監査役	鳥居伸光
社外監査役	杉浦恵祐
社外監査役	寺澤和哉

店舗展開状況

(平成23年3月31日現在)





株式情報

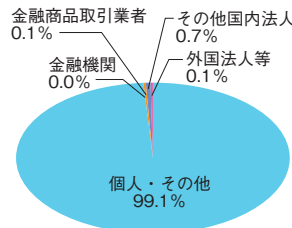
株式の状況 (平成23年3月31日現在)

発行可能株式総数	37,600,000株
発行済株式総数	10,838,000株
株主数	4,994名
大株主 (上位10名)	

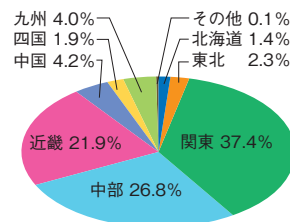
株主名	持株数(株)	議決権比率(%)
前田博史	3,008,800	27.76
株式会社アイ・イー・エイチ	2,240,000	20.66
小川幸久	1,220,680	11.26
前田由紀子	960,000	8.85
株式会社愛知銀行	497,900	4.59
KDDI株式会社	400,000	3.69
前田吉昭	320,000	2.95
株式会社商工組合中央金庫	220,000	2.02
名古屋鉄道株式会社	200,000	1.84
株式会社光通信	196,300	1.81

所有者別株式分布状況 (平成23年3月31日現在)

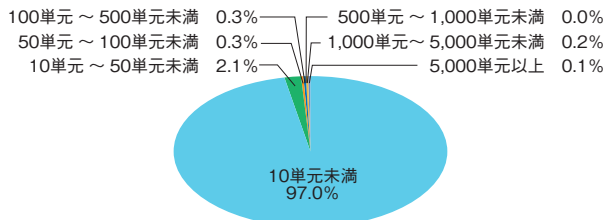
所有者別分布状況(株主数)



地域別分布状況(株主数)



所有株数別分布状況(株主数)





株主メモ

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
配当金受領株主確定日	期末配当金 3月31日 中間配当を実施する場合 9月30日
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同 連 絡 先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 TEL 0120- 232- 7111 (通話料無料)
公 告 の 方 法	電子公告 http://www.aspir.co.jp/koukoku/9428/9428.html ※やむを得ない事由により、電子公告によることができない場合は、日本経済新聞に公告いたします。
単 元 株 式 数	100株

(ご注意)

1. 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることになっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせ下さい。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意下さい。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問い合わせ下さい。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

株主優待制度のご案内

1単元（100株）以上所有の株主様に「東海地区の名産品」3,000円相当を年1回贈呈する株主優待制度を実施しております。

毎年3月31日現在の株主名簿に記載された株主の皆様へお届けいたします。



平成23年3月期の株主優待品
(平成23年6月贈呈 三重県名産品 詰め合わせ)



crops

株式会社 **クロップス**

〒450-0002 名古屋市中村区名駅四丁目23番9号
電話 052-586-5145(代表)
ホームページアドレス <http://www.crops.ne.jp/>

